

大会を終えて

第32回全国（岡山）大会を終えて

岡山県立記録資料館 杉山一雄

はじめに

平成17年9月に開館した岡山県立記録資料館の所在地である、岡山県岡山市で開催された第32回岡山大会は、232名という多数の参加者を得て盛会のうちに終了しました。今大会は、大会テーマとして「アーカイブズの新時代へ」の2年目に当たり、サブテーマを「理想と現実のはざままで」としました。

岡山大会開催に当たっては、準備段階から岡山県立記録資料館職員の方々の献身的なご尽力を頂き、この場を借りて感謝いたします。

また、報告者、記録者等の方々にも多大なご協力を頂きましたことにお礼を申し上げます。このように、今大会も様々な方々から支えて頂き、岡山大会が運営できたと思います。

アンケートから大会全体をみる

岡山大会は、昨年同様な開催時期となりました。

委員会では、今回もアンケートを参加者にお願ひしました。今回も回答数を少しでもアップするように努めた結果、前回（45通）を上回る62通の回答が寄せられました。この場を借りて協力して頂いた皆様にお礼を申し上げます。参加者全体の約27%のアンケート回答率ですが、参加者の生の声を反映させて頂くということで、今回頂いたアンケートの回答を集計した結果から報告したいと思います。

1 3日間の開催期間について

①ちょうど良い	76%
②長い	13%
③短い	2%
④その他	10%

2 3日間の日程の組み方

①適当	68%
②不適當	6%
③どちらともいえない	19%
④その他	4%

3 大会テーマ

①適当	76%
②不適當	2%
③どちらともいえない	15%
④その他	8%

上記の集計結果を見る限りでは、どの項目も「良い・適当」とするご意見を頂いていますので、岡山大会の全般的運営は、概ね良かったという評価を受けたと思います。

大会日程について

大会期間について、アンケート結果では妥当だというご意見を頂いていますが、長いという意見も13%あります。移動日を入れると3日間を越えることになり、参加するのがむずかしく、2日間にして欲しいという意見が今回もありました。

大会日程の組み方について、アンケート結果では概ね妥当とのご意見ですが、どちらともいえないというご意見が2割近くあります。第1日目は午後から研修会が開催でき

ないか、2日間でも可能であるという意見がある一方、3日間は必要である、研修会、研究会、視察、総会で3日間は妥当という意見がありました。

懇親会

今回の懇親会も指定された席に座る方式です。アンケート結果では、多くの方々と情報交換ができてよかったという好評のご意見を頂きました。

大会テーマ研究会

今回の大会は、午前の全体会Ⅰ、午後の分科会、全体会Ⅱの3部構成です。今回は、全体会Ⅰの報告を従来の3本から2本にしました。全体会Ⅰでは、大会企画趣旨説明、報告ⅠからⅡの2本、3つの分科会（第1分科会から第3分科会）、全体会Ⅱでは、各分科会の概要報告を踏まえて、分科会の各報告者を壇上に上げて討議を行いました。

（全体会Ⅰ）

全体会Ⅰは、2本の報告です。

アンケート結果の主な意見は、以下のとおりです。「県と市と規模が違う立場からの報告が良かった」という意見、「地元からの報告であり、新たな設立事例として参考になったが、本大会のテーマ的問題提起となる発表があると良い」という意見、「具体的な事例報告が良かった」という意見もありました。

（分科会）

分科会は、3つの分科会が開催されました。

アンケート結果の主な意見は、以下のとおりです。

第1分科会からは、「平成合併での対応など各地の取り組みがわかった」、「合併に伴う文書廃棄と保存のむずかしさ、職員の認識の低さなど、まさに理想と現実のはざまと思う」という意見がありました。第2分科会からは、「テーマが明確で質疑もわかりやすかった」、「大変興味深く参加させてい

ただいた」という意見が寄せられました。第3分科会からは、「提案者の方だけでなく、参加者の発言も参考になった」、「各館によってサービスの対する現場の考え方の違いに驚いた」という意見がありました。

（全体会Ⅱ）

全体会Ⅱは、まず各分科会の討議概要の報告を踏まえて、分科会の報告者も壇上に上がり全体討議に入りました。

アンケートの回答を見ますと、「フロアからの発言にもう少し時間を割くべきではないか」、「来年への統一見解を無理に出す必要があるのか」、「討議や質問を先渡しにして進行させていくことはできないか」という意見がありましたが、「多様な問題が論じられて勉強になった」、「いろいろな思いを知ることができた」、「様々な意見を聞くことができ、文書館のこれからについて改めて考えていかなくてならないと思った」、「参加者の皆様のアーカイブズへの熱い思いを感じる事ができた」などの意見も寄せられました。

全体会の運営に関して、今回も司会者一人に大きな負担をかけました。全体会の運営方法も引き続き今後の課題です。

企業展示

企業展示に参加された協賛企業は、10社です。企業展示の各社からは最新の情報を提供して頂きました。アンケート回答からは、「時間制限はあったが、新しい情報を知ることができてよかった」との意見を頂きましたが、「会場が5階で気の毒」とか「もう少し展示見学時間が欲しい」という意見もありました。

機関展示

機関展示は、企業展示と同じ会場で開催されました。アンケート結果からは、「見本、有料、無料配布の明示があってありがたい」、「無料配布をしてくれる参加機関がもっと増

えるよい」とかの意見がありました。

視察

視察は、岡山県立記録資料館、岡山市デジタルミュージアムの2カ所です。アンケートでも「2館とも時間がたっぷりととれてよく見ることができてよかった。説明が丁寧でわかりやすく参考になった」など好評でした。

おわりに

アンケート回答を踏まえて、岡山大会を振り返ってみました。アンケート結果のなかで、寄せられた意見が多方面にわたりますので、十分まとめ切れませんが、今後の大会運営上参考になる意見が多くあります。年1回の大会という時間・内容・会場等の制約を克服して、参加者一人ひとりが壇上に上がる気持ちで参加することが必要だと思います。

次回の茨城大会は、昭和49年11月に全史料協創設のための準備会（第2回）を開催した茨城県立歴史館の所在地で開催されます。会員の皆様の積極的な参加をお願いしたいと思います。